



みんなで描くふるさと栗野の未来図

岩野田北まちづくりビジョン 2021～2030 年度



協働でより良いまちに

① 住民と市でビジョンを共有・協働を实践

② 効果的・持続的なまちづくり

③ 自治会・各種団体等の連携

④ 「いの指とまれ」で広がる輪

① 人と地域を育むまち

② 健康・快適な暮らしのまち

③ 安心・安全・絆のまち

大切にしている考え方
【基本方針】

目指すまちの姿
【達成目標】

10年後のまちのあり方を見据え、皆さんから寄せられたご意見をもとに、より良いまちにしていくための方向性を取りまとめたのが、岩野田北まちづくりビジョン“みんなで描くふるさと栗野の未来図”です。この要約版のほか、ビジョン本編は、岩野田北まちづくり協議会のホームページ(右のQRコード)や岩野田北公民館で閲覧いただくことができます。また、空撮写真の動画を、ホームページにアップしました。また、岩野田北公民館でDVDを貸し出しています。



URL : 6 ページ参照

基本方針と短期・中期的な取り組み

(以下、岩野田北まちづくり協議会は、「協議会」と表記します。)

【基本方針】 ～大切にしている考え方～

※赤字は新規の取り組み

① 住民と市でビジョンを共有・協働を实践

- ①岩野田北のまちづくりビジョン(以下、「ビジョン」)を、地域住民及び市が共有します。
【ビジョンを各世帯・市に配布、提示】
- ②地域における住民協働を推進するとともに、まちづくりの初動期(提案・研究・モデル実施等)から市との協働に取り組みます。
- ③地域の情報を的確に発信します。【広報紙の充実、ホームページの効果的運用】
- ④まちづくりのノウハウを蓄積・継承します。【役員の引継ぎ、ホームページの運用】
- ⑤「まちづくりサロン」を開催します。【定例サロン第3日曜日、臨時サロン随時】

② 効果的・持続的なまちづくり

- ①役員の負担軽減、事業の多目的化・重点化など効果的・効率的なまちづくりに努めます。
- ②地域包括支援センター、保健センター、地域の公共施設、公益法人・NPO等と連携し、そのノウハウの活用・モデル事業の実施等について、必要に応じて協働します。
- ③まちづくりの芽を発見し、みんなで育てるとともに事業活動の検証・改善を図ります。
- ④楽しく学び合い、育ち合い、持続可能なまちづくりの推進に向けて工夫を凝らします。
- ⑤ビジョンを実現するため、現在の部会を再編し、役割を分担して取り組みます。【総務・広報部会(現部会を統合)、事業部会、安全部会(現・青パト部会)、福祉部会、環境部会(新設)】

③ 自治会・各種団体等の連携

- ①住民・自治会・各種団体等が連携して、主体的・総合的なまちづくりの機能を高めます。
- ②幼・小・中との連携を図ります。
- ③近隣コミュニティとの連携を図ります。【中学校区としての行事・防災・コミバス等運営、岩野田地区・山縣市等との交流など】
- ④年齢・性別・国籍・障がい・居住年数などに関わらず、対等かつ主体的にまちづくりに参画できる環境・意識を醸成します。

④ 「この指とまれ」で広がる輪

- ①誰もが日常的に参加できるまちづくり活動について協議・検討し、地域への参加とつながりを実感できる取り組みを進めます。【例えば、あいさつ運動、自宅の周辺清掃、ごみ拾いを兼ねたウォーキング・犬の散歩のわんわんパトロール・自転車の買い物かごで啓発などの「ながら運動」、花飾り講座等の開催など】
- ②地域の皆さんからまちづくりへの提案等を寄せていただき、地域のニーズの把握に努めるとともに、多くの皆さんのまちづくり協議会への参画を促進します。また、自発的なまちづくりへの参画促進・担い手の育成に努めます。【まちづくり塾の開校など】

※達成に必要な具体的な施策を、毎年度の事業計画・予算に盛り込み、推進します。

【達成目標】 ～目指すまちの姿～

※赤字は新規の取り組み

①安心・安全・絆のまち

- ①青色回転灯パトロールを引き続き実施します。
- ②災害時対応、交通事故の防止、防犯をはじめ人の命を守るための取り組みを、住民・自治会・各種団体・事業所など地域ぐるみで推進します。
- ③子どもの安心・安全な環境づくりをみんなで推進します。
- ④隣近所での声掛けなど、普段から自主的かつ互助・共助による安全確保の習慣を身に付けます。
- ⑤交流機会の企画をみんなで練り上げます。【公民館との連携、**あいさつ運動の普及**など】

②健康・快適な暮らしのまち

- ①ごみ、ふん害をなくします。【**美化キャンペーン**など】
- ②移動手段の確保に取り組みます。【コミュニティバスの運営など】
- ③騒音・ポイ捨てなど通過交通等による環境悪化対策を推進します。
【**看板設置**など】
- ④健康づくりを推進します。【公民館等との連携、**特定検診の勧奨**、スポーツ振興など】
- ⑤高齢者等のための家事支援等サービスを必要に応じて案内します。【**公益法人やNPO等との連携**】
- ⑥鳥羽川の環境美化を推進します。【清掃活動、**手のかからない野趣にあふれる植栽**など】



③人と地域を育むまち

- ①子どもの成長を地域ぐるみで見守り、夢を育みます。【地域の連携促進】
- ②三世代交流に取り組みます。【夏まつり、ウォーキングなど】
- ③生涯学習を促進します。【公民館との連携、**まちづくり塾の開校**など】
- ④まちづくりの芽(課題や文化資源)をみんなで発見し、育てます。
【まちづくりサロンの活用、**まち歩き**、**まちづくりの芽ファイル**の蓄積など】
- ⑤地域ならではの魅力あふれる企画をみんなで練り上げます。
- ⑥郷土意識を醸成します。【**ふるさと塾の開講**など】



【まちづくり協議会の現在の取り組み】

(現在の取り組み継続する一方、皆さんの意見を参考に企画を練ります)

- 自治会・各種団体等の情報交換・連携
- 広報紙・ホームページの作成
- 青パト安全活動
- 夏まつりの開催
- ウォーキングイベントの開催
- コミバス運営への参画
- まちづくりサロンの開設
- その他共催事業(コミュニティ・コンサート、スポーツ広場など)

●子どもたちのまちづくりへの提案

●岩野田北小学校、岩野田中学校の児童生徒から数多く寄せられたまちづくりへの提案です。子どもたちの提言を夢に終わらせることなく、夢に近づけるまちづくりが私たちに求められます。

【岩野田中学校 2年生の意見・提案】

「都会的な魅力あるまち」

魅力あるまちとは、賑わいと活力に満ちた近代的な都市のイメージが強く、便利で楽しい生活を送りたいとの声が多く寄せられました。具体的には、「百貨店、大型ショッピングモール、テーマパーク、映画館」を求める意見です。「スポーツのできる公園やグラウンド」、「子どもの遊ぶ公園を増やす」、「緑豊かな都会」などの意見も多く見られます。同時に、「一人ひとりが地域のことを考えるまち」、「自慢できるをつくる」、「地域の仕事や活動を盛んにする」、「観光名所をつくる」、「お金の回転をよくする」などの、まちづくりの提案も寄せられました。

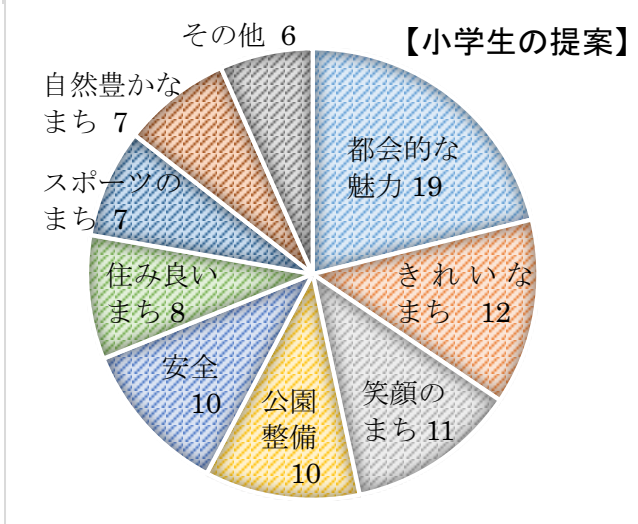
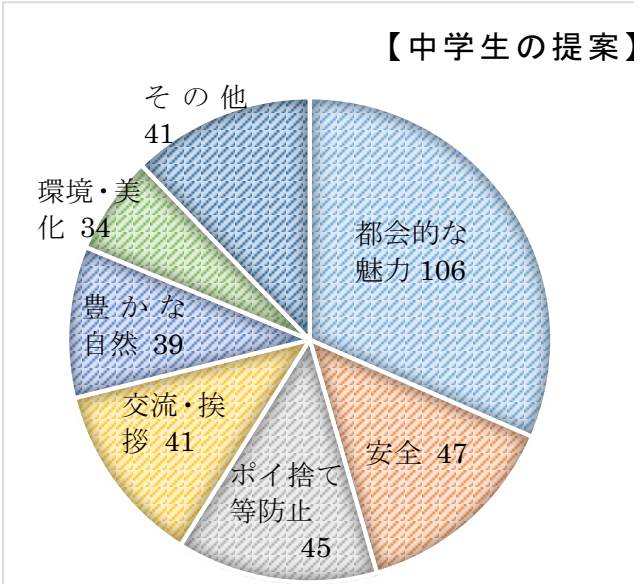
【岩野田北小学校 4年生の意見・提案】

「にぎやか・きれい・住み良い・公園」

中学生同様、「店舗の多い、にぎやかな都会」を期待する声が多でしたが、2位との差はそれほどありません。「ごみのない花いっぱいまち」、「公園の多いまち」、「スポーツのまち」、「自然豊かなまち」が具体的なまちの姿です。同時に、「安全で住み良いまち」、そして「協力し合い、助け合い、笑顔があふれるまち」など、協働のまちづくりに関する意見も多く寄せられました。

一方、夏まつりの企画では、「花火」、「お化け屋敷」を望む声が多く見られました。

※公園整備を、中学生は都会的な魅力に含めましたが、小学生は、望む声が多いため、別枠で集計しました。



夢で終わらせないため、良好な都市環境を次世代へ。

- 都市に居住している実感を味わうことができる、そんな都市環境が必要です。
- 我が国のインフラ予算が近い将来限界を迎えると言われ、地方都市には「コンパクトシティ」が求められています。一方、交通機関や行政内分権等によりネットワーク化された郊外拠点の都市環境の整備は、市全体の居住性を高め、都市全体の魅力を向上させるとも考えられます。
- 公園が少なく、通過交通の危険にさいなまれる地区の根本的課題の解決は、子育てをはじめ生涯を通じて健康的な都市生活を実現するために、欠かせない大きなテーマです。
- 子どもたちが望むまちの将来像を夢で終わらせないために、これらの地区課題を解決し、まちの資源と特性をどのように生かすか…地域と行政の協働による取り組みが必要です。

●都市としての快適な環境づくり～市との協働が欠かせません～

●地域の抱える大きな課題を抜本的に解決し、都市としての住環境を整備するためには、行政の中長期的な計画に位置付けられる必要があり、市との協議が欠かせません。

【その1】子どもの命を危険にさらす、散歩が怖い、深夜早朝の騒音…住民の暮らしを脅かす通過交通対策

現況 バイパス整備後も、生活道路への通過交通量は多く、住民の安全を脅かし、住環境を著しく損なっています。

目標と進め方 交通安全施設の整備など安全対策を講じる一方、道路整備等の抜本的な解決策について、市等へ提起します。



【その2】鳥羽川の環境整備(親水空間、散策道路の整備等)

現況 市街地としての自然環境が活かされていない。また、地域に子どもが遊べる公園が少ない。

目標と進め方 治水に留意した親水空間として、居住環境の魅力を高めるとともに、子どもの環境学習や住民の健康づくりなどに活用できる都市河川としての整備について、市等へ提起します。



【その3】快適な生活空間づくりに向けた住民参加

現況 コミュニティの希薄化が懸念される今日、より良い環境を築くためには地域ぐるみの取り組みが欠かせません。

目標と進め方 あいさつや家の周りの清掃、ごみ拾いを兼ねたウォーキング、花飾りなど、一人ひとりが日常的に参加できるまちづくりの輪を広げる取り組みを推進します。



地域でできることは地域で～地域が主体的に取り組む活動推進～

【その1】交通安全

交通安全施設の点検、通過交通に対する呼びかけ看板設置、交通ルール・マナーの徹底など。

【その2】鳥羽川の環境整備

美化清掃・野趣に富んだ花の植栽、ホタルの保護育成、環境講座の開催など。

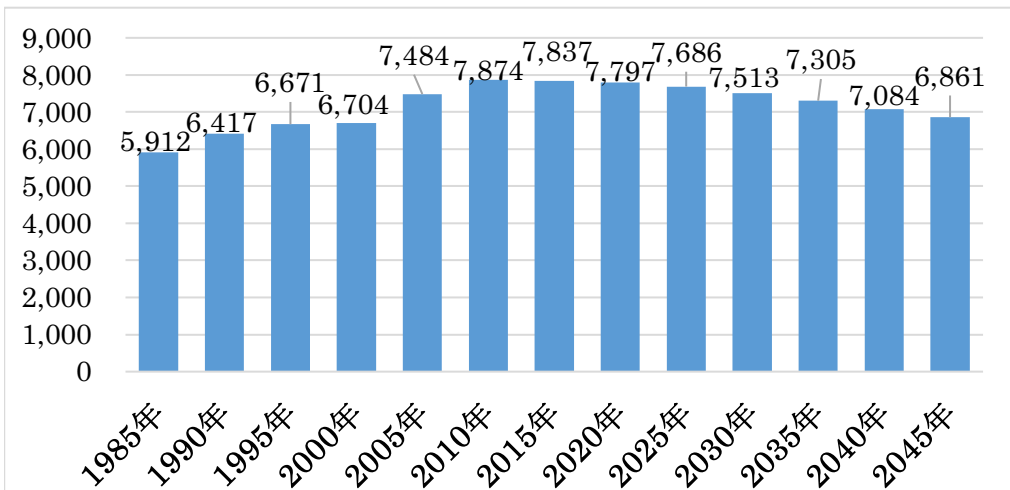
【その3】私たち一人ひとりの参加

個人、グループができることから始める「この指とまれ」のまちづくり。わんわんパトロール、自転車でパネル広報するリンリン啓発、ウォーキングを兼ねたゴミ拾い等の「ながら運動」など一工夫。

◆岩野田北地区の現況と主な課題～医療機関や店舗に恵まれた地区～

全体として典型的な郊外型の特徴を有している岩野田北地区は、自然豊かな鳥羽川を挟む粟野地区の東西で、交通環境や土地利用状況等に違いが見られます。地区内の道路幅員は総じて狭小であり、歩道やガードレールなどの交通安全施設も十分とは言えません。その上、通過交通量は多く、バイパス整備後も、市街地と山県市の通過点として生活道路の侵入交通が生活環境の悪化と安全を損なっています。また、公園も多くなく、子どもが戸外で遊ぶ環境には恵まれていません。バスの便数は確保されているものの、運賃は下岩崎から一気に跳ね上がります。一方、郊外型の店舗が数多く立地し、医療機関にも恵まれ、生活利便な環境にあります。防災面でも、51年水害を機に鳥羽川改修工事が行われ、水害被害の心配は軽減されました。反面、親水空間としての河川の活用度は低く、また工事から数十年を経過した今も、かつて市内随一の蛍の名所は未だ復活していません。なお、山際の一部住宅地域は土砂災害警戒区域に指定されています。自治会や各種団体、ボランティア活動、公民館活動は活発に行われています。一方、互いの情報共有・連携強化及びまちづくりに住民が参画しやすい環境づくりが求められています。自然や田園風景に季節感を感じられる反面、田畑の宅地化が進み、集合住宅が急増し、かつ高齢化の進展を背景に、自治会加入率の低下が見られます。大龍寺や野仏をはじめとする史跡等が地区内に息づいていますが、転入者には、郷土の文化はあまり知られていません。生活の利便性に優れた地区の居住性をさらに高めるため、みんなでビジョンを実現しましょう。

●岩野田北地区の人口推移グラフ（岐阜市市民活動交流センター提供）



●高齢化率(R2.4.1)

25.02%(市の平均値は29.32%) (令和2年4月1日現在)

●特定検診受診率 (H31)国保加入者の受診率 38%(市の平均値は39%)

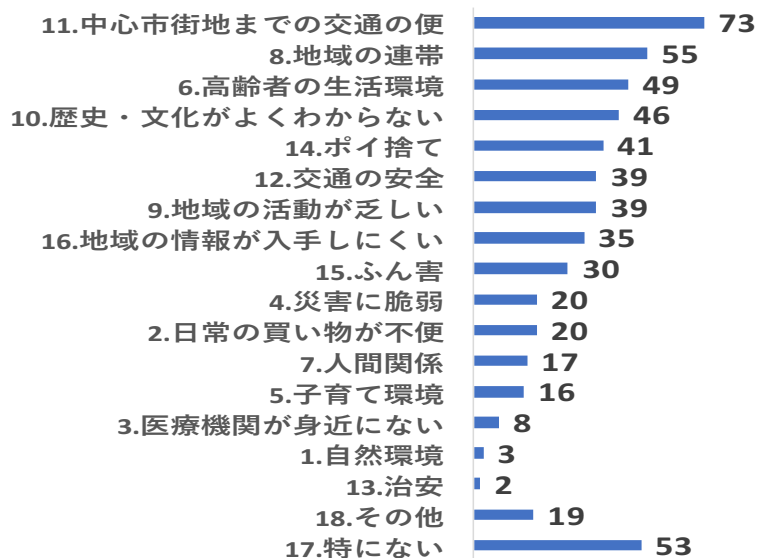
●飼い犬数 (R2.11) 477頭(0.15頭/世帯) (市の平均値は0.13頭)

●岩野田北地区の課題(良くないこと)

～アンケート(設問2)集計結果から～

「地域の課題」を尋ねた設問の結果は右のグラフに、また「自由筆記」での指摘を、右ページのグラフに示しました。

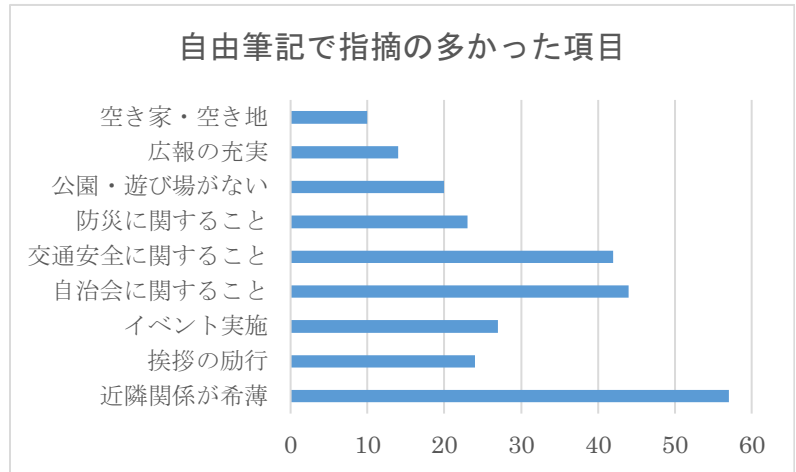
いずれも、「地域の連帯」、「近隣関係の希薄化」、「自治会関連」が課題の上位を占め、「交通安全」も共通して提起されています。粟野の東西では、「交通の便」、「ふん害」が粟野西で、「地域の連帯」、「情報入手難」は、粟野東で多く寄せられました。



●今後の検討課題

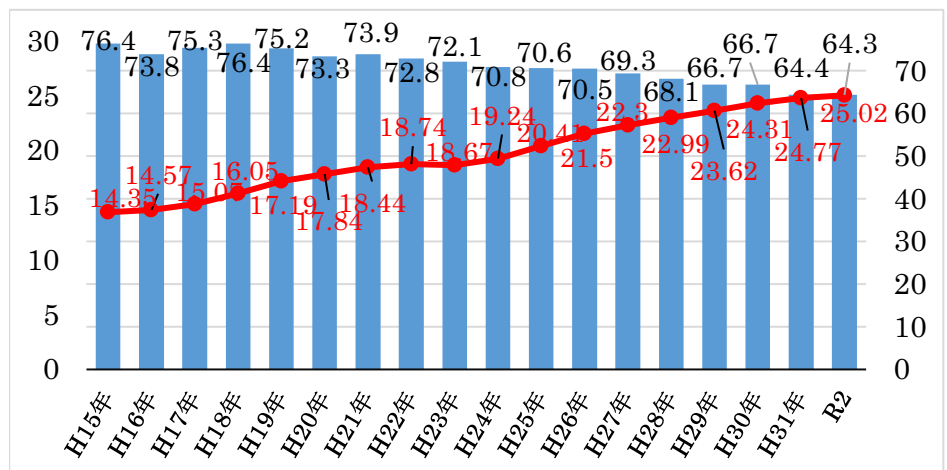
●地区の特性と創意工夫のもと、課題として抱えている各種事案については、さまざまな角度から検討が必要です。また、市との協働が欠かせません。

「希薄化するコミュニティの再生」、「高齢者の社会的孤立の抑制」、「高齢者の悩みへの対応」、「空き家問題」、「交流イベントの企画」、「地域活動への参加促進」、「山林等の自然活用」、「コミバスの利用促進」、「中心市街地の活性化や高齢者の社会参加に資するバス運賃の市内均一料金」などの意見が寄せられています。「一人の1歩より、100人の1歩」・・・みんなで話し合い、協働して取り組みを進めましょう。



●コミュニティの基盤である自治会の加入率減少は、災害時の対応においても重要な課題です。

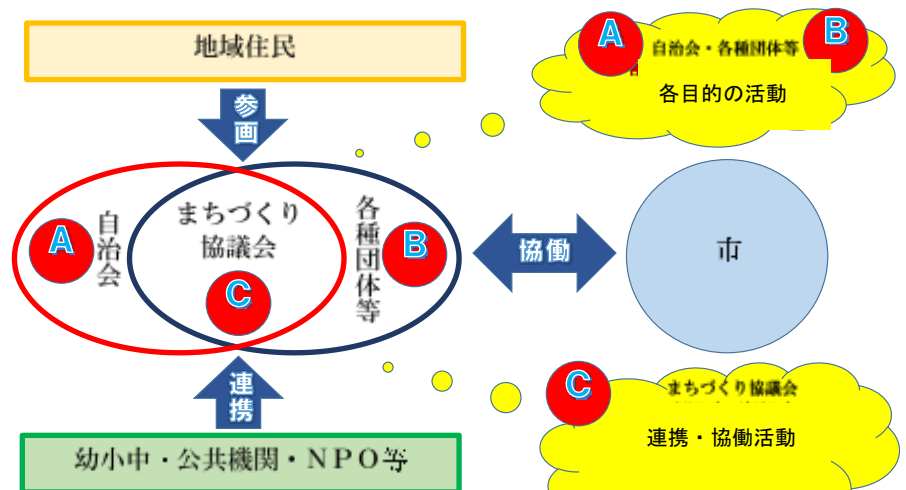
「高齢化に伴う負担」、「集合住宅の未加入」、「自治会活動の見える化」、「小さな自治会実現」、「役員任期の見直し」、「役員の割り当て方法」などの意見が寄せられています。



自治会加入率：棒グラフ
高齢化率：折れ線グラフ

●アンケート全般は、ビジョンにできる限り反映しましたが、今後も地域力を高めるために寄せられた多くのご意見をまちづくりに活かしていく必要があります。

まちづくりの芽を発見し、地域の課題を解決したり、地域の資源を活用することが、まちづくりにつながります。皆様のご意見・ご提言を引き続きお寄せください。また、気軽に話し合うまちづくりサロンは、毎月第3日曜日の午後1時から岩野田北公民館で開催(日程を変更する場合があります。お問い合わせをいただくかホームページでご確認ください)。



※各団体の活動内容は、ホームページをご参照ください。

- 岩野田北まちづくり協議会ホームページ <https://iwanodak-machi.sakura.ne.jp/wp/>
- 岩野田北まちづくり協議会事務局(岩野田北公民館内) ☎058-237-2934

自治と協働のまちを目指して 私たちのまちを育み、明日に繋ぐために

新型コロナウイルスにより、経済活動、日常活動のみならず、地域のまちづくりは、多大なる影響を受けています。岩野田北地区でも、防災訓練、敬老会、スポーツ広場をはじめ、活動・行事の多くが中止となりました。子どもたちがあれほど楽しみにしていた夏まつりも、中止せざるを得ませんでした。

しかし一方で、青パト安全活動、登下校時の安全活動をはじめ、子供たちや高齢者の方々の見守り活動、豪雨時の防災出動、小学校の消毒奉仕などなど、自治会、各種団体、ボランティアの皆様の取り組みが、日々継続的に実施されています。改めて、多くの皆様のご尽力に心から感謝申し上げます。長きにわたり実践されてきた尊い活動を担ってこられた皆様方の熱い思いを、決して絶やしてはなりません。

このような時こそ、地域の絆をより強固にし、新しい日常を基本にしつつ、これまでに培われた知恵と経験を、今後のまちづくりに生かしていかなくてはなりません。

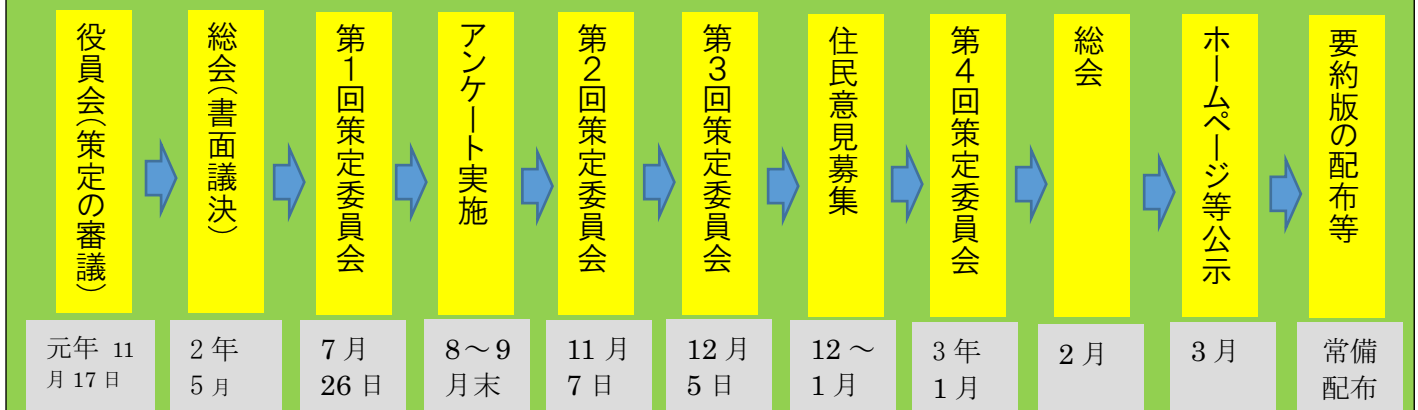
まちづくりは絶え間なく、よどみなく、明日に繋がる流れでありたいと願ってやみません。

地域のまちづくりビジョンは、10年後の岩野田北地区のあり方を見据え、まちづくりの具体的な方向性をとりまとめたものです。策定に当たっては、アンケート調査、計画の素案に対する住民の皆様からの意見募集など、地域一丸となって取り組んでまいりました。

岩野田北まちづくり協議会は、三世代交流の夏まつり、青パト安全活動、コミバス運行などを推進してきました。地域の助け合いと市との協働を基本に、まちづくりビジョンを共有し、住民の皆様との参画のもと、自治会、各種団体等が連携を図りながら、自治と協働の輪を広げ、栗野のまちづくりをより一層進めてまいりたいと存じます。より良い地域を築くため、厳しい時期ではありますが、しっかりと根を張り、力を蓄え、花開き、実を結ぶため、引き続き岩野田北のまちづくりに対しまして、皆様のご理解・ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

令和3年3月 岩野田北まちづくり協議会 会長(岩野田北自治会連合会長) 松久忠弘

【まちづくりビジョン策定の経緯】



【岩野田北まちづくり協議会とは】

- 目的 住民参画と自治会、各種団体等の連携のもとに、より良い地域を目指します。
- 設立 平成16年10月(市の制度初の3モデル地区の一つとしてスタート)
- 構成団体等 岩野田北自治会連合会、岩野田北自主防災隊、社会福祉協議会岩野田北支部、岩野田北小学校、岩野田中学校、岩野田北公民館、北消防団岩野田分団、岩野田水防団、岩野田北地区民生委員・児童委員協議会、岐阜北地区交通安全協会岩野田北支部、岩野田北老人クラブ連合会、岩野田北青少年育成市民会議、岩野田北小学校PTA、岩野田中学校PTA、岩野田北子ども会育成会、赤十字奉仕団・岩野田北分団、岩野田北母子福祉会、岩野田北女性防火クラブ、岩野田北体育振興会、岩野田北スポーツ少年団、栗野共有林野保護組合、岩野田北公民館クラブ・サークル、ひまわりの会、住民有志
- 組織体制 総務部会・広報部会(総務・広報部会に再編の予定)、青パト部会(安全部会に再編の予定)、事業部会、福祉部会、環境部会(新設の予定)

